

第 51 回埼玉県医学検査学会を終えて

第 51 回埼玉県医学検査学会

学会長 矢作 強志

2023 年 12 月 3 日（日）ソニックシティにて第 51 回埼玉県医学検査学会を開催いたしました。当日は好天に恵まれ、また新型コロナウイルス感染症の分類が二類から五類へ移行となった影響もあり、一般市民の参加を含め 1,177 名の皆様に参加していただき盛会裏に終えることができました。心よりお礼申し上げます。

今回の学会テーマは『Let's connect!』サブテーマは『臨床検査技師になってよかった～人との出会い・検査との出会い～』とし、近年の学会テーマを鑑み、この職種を選び養成校へ入学し現在に至るまで多くの方との出会い、検査と出会った「connect＝繋がる」を意味した企画・運営を昨年 10 月より実行委員 18 名、担当理事 2 名で準備してまいりました。

学会企画講演は 3 つを企画し、（一財）辨野腸内フローラ研究所理事長の辨野義己先生より「腸内常在菌研究の過去・現在・未来」について、埼玉県警察本部刑事部科学捜査研究所法医科の谷田部和子先生より『探せ！検査可能性の Piece（PEACE）「科捜研のお仕事～科学検査に検査技術は活かせるか～」』を、また各世代を代表する県内会員を講師に迎え「XYZ 世代別 口に出しては言いにくい本音を知って今後に繋げていこう！」を事前アンケート調査の結果も含め講演いただきました。全ての会場が満席・立ち見状態で会場責任者の判断で入場規制を行う場面もありご迷惑をおかけした反面、多くの方々が興味を持てる企画を立案できたこと実行委員一同嬉しく思っています。その中、X 世代の講師が体調不良となり困っていたところ、神山会長自ら代打として手を挙げて講演をいただき、無事企画が終了できたこと感謝いたします。

学生向けランチョンセミナーでは青年部企画として「臨床検査技師になる準備は出来ていますか？Ver. 2～現場に繋がる国試の知識～」をテーマに 2 名の講師より講演を、また神山会長より学会テーマ沿った講演をいただき、人との出会いの大切さ、また自己研磨のための勉強は人生が終わるまで続くとお言葉がありました。研究班セミナーは「初心者必見！！～検査データの見方と解説～」をテーマに、スマートフォンを使用した参加型講演を行い、講師・参加者の繋がりがありました。小ホール前ホワイエでは、一般市民向けも踏まえた展示を行いました。アニメ働く細胞をベースに「血液の中で働く細胞を見てみよう！」を委員が作成したスライド放映や実際の血液像画像、各臓器の超音波での正常・異常画像提示。また検査と健康展で一般市民から好評であった研究班作成ポスターも掲示し、一般市民や学生を含め臨床検査技師という職種のアピールに繋がったと思います。

市民ホールでは今回も企業展示を行い、12 社からの協力を得られ感謝しております。受付や学会企画等の市民ホールが会場のため、多くの会員が足を運ばれていました。

市民公開講演は 2 部制とし第 I 部は第 1 回・第 2 回と日本が連覇しその時の WBC 代表メンバー、伝説のサブマリン投法元千葉ロッテマリーンズ、現日本製鉄かずさマジック監督、渡

辺俊介氏をお招きし従来の講演形式ではなく各テーマを設け、トーク形式で行いました。会場には千葉ロッテマリーンズのユニフォームを纏った市民の方も見受けられ、一緒に司会を務めた塚原局長との高校時代の野球部先輩・後輩のステージ上でのキャッチボール、渡辺氏より撮影許可を得ていたため撮影 OK アナウンスで、多くの方がステージ前列に近づき撮影を始めた風景に、渡辺氏の投球フォームを含めた知名度の高さを感じました。第Ⅱ部は全国大会・TV 出演等でも埼玉県代表校とし名を馳せ、2021 年全国高等学校ダンス選手権優勝、今年度もビッククラス・小編成部門での上位入賞の山村国際高等学校ダンス部の皆様に、元気をいただくキレのあるダンスを 8 演目披露していただき、明日からも頑張ろうという勇気をいただきました。学生の皆様が考えてくれた「Connecting Hearts」というテーマ、今学会の最後にふさわしいテーマと思っております。

最後に、今学会開催にあたり神山会長をはじめ理事・一般・賛助会員の皆様、学会関係者等のご支援・ご協力に対しまして学会実行委員一同深謝しております。また埼玉県臨床検査技師会繁栄のため第 52 回埼玉県医学検査学会へのご協力、よろしくお願いいたします。

第 51 回埼玉県医学検査学会

実行委員長 小関 紀之

実行委員会として数々の会議を重ねて参りましたが、学会が終わった今となっては、あつという間に感じております。実行委員のチームワークと担当理事にサポートいただき学会を企画し、無事に開催できたことをうれしく思います。御講演をいただきました先生方、座長を担当して頂きました会員の皆様、御発表いただきました会員の皆様、学生の皆様、協賛いただきました賛助会員の皆様、当日の実務においては、埼臨技理事の皆様、事務員の皆様、研究班員の皆様、すべての皆様に感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の位置づけが 5 類感染症に移行し、今学会は、コロナ以前の通常通りの形式で開催することができました。一般演題、各種学会企画、セミナーなど会場はどこも大盛況となりました。市民公開講演においても多くの市民の方にもご参加をいただきました。

渡辺俊介氏のトークショーでは、野球選手、監督として活躍する中で、人との出会いの大切さ、人を育てる秘訣など、職種を問わずとても参考になるお話を拝聴させていただきました。山村国際高等学校ダンス部の皆さんにはキレッキレのダンスパフォーマンスを御披露いただきました。ダンス部の皆さんはとても礼儀正しく、常に笑顔で、全国レベルの素晴らしいダンスには鳥肌が立つほどの感動をさせていただきました。市民公開講演を通じて臨床検査が人から人へとつながり、認知も広がっていくことを期待しております。

第 52 回埼玉県医学検査学会へ、さらにその先の未来に「Let's connect!」。

